

# 情報関係人材の活用促進に向けた育成カリキュラム及び指導モデルの手引き

## 背景

- ・学習指導要領の改訂により、高等学校での「情報Ⅰ」の必履修化等、情報教育の充実が図られたところ。
- ・新たな必履修科目「情報Ⅰ」ではプログラミングやデータサイエンスなど、これまでと比較してより高い専門性が求められる内容が盛り込まれた。

## 対応

教科「情報」の授業の質及び生徒の興味・関心の向上を図るためにも、高い専門性を有した外部人材を必要に応じて有効に活用することで、各学校における教科「情報」をより一層充実させることが期待。



## 取組

教育委員会及び学校が外部人材活用を行うに当たっての全体像を示した指導モデルや、外部人材が授業参画前に理解しておくべき内容を示した研修カリキュラムを示す手引きを作成、周知し、**情報技能に係る高い専門性を有した外部人材の活用を促進。**



## 人材

教科「情報」の授業で活用できる外部人材

【指導経験者】

元教員、大学教授、PC教室講師、IT講座講師

【指導未経験者】

元情報関連産業従事者、IT技術者、情報工学系の学生



## 研修

学校での授業実施経験を有しない外部人材が、**教員のパートナーとして授業サポートや授業づくりをできるようになるために必要な研修カリキュラム**を以下の観点で作成。

「背景理解」「業務理解」「教科理解」「実践確認」



## 活躍

外部人材を導入している学校の声

- ・授業の質向上に効果を感じている。生徒のアンケート回答を見る限り、生徒の興味関心や理解度の向上に繋がっていると思われる。
- ・授業準備や授業中のサポートにおける**負荷軽減に効果**を感じている。



↑ こちらから  
ご覧ください

## 本手引きについて

- ・教科「情報」において、外部人材の活用が促進され、授業の質向上に寄与することを目的。
- ・本手引きに示す指導モデルは、外部人材の円滑な活用及び運用ができるよう、**予算や人材の「手配」、授業の「準備・実施」、活用の「改善」**の各プロセスにおける実施事項を教育委員会、学校、外部人材の観点で整理。

## 掲載内容

- 第1章 外部人材を活用した指導モデルの概要
  - 第2章 外部人材を活用した指導モデル活用の手引き
  - 第3章 外部人材に対する研修カリキュラムの概要
  - 第4章 外部人材に対する研修カリキュラム活用の手引き
- 各種様式例（求人票掲載）  
参考資料: アンケート結果（対象: 教育委員会）